

風のささやき

山仲間アルプ

山仲間アルプ会報 No.1

1. 会報創刊のご挨拶

会員のみなさま、風薫る5月が過ぎようとしています、いかがお過ごしでしょうか？

4月19日に設立総会を行い、『山仲間アルプ』が無事に産声を上げることができました。設立準備に取りかかってから、わずか1ヶ月ほどで設立に至り、また第1回目の山行として、佐渡島のドンデン山登山を実施できましたことは、ひとえにみなさまのお力添えのおかげと、心から感謝しております。

まだまだ運営体制も整わず、試行錯誤のうちに進めていますが、そのため至らない点多々あると思います。そのようなときには、みなさまからのご指導をいただいて、改善していきたいと思っていますので、遠慮せず何でもご意見をお寄せください。

『山仲間アルプ』がみなさまから愛される会になるように、精一杯努力して参りますので、これからも登山をはじめとした各種活動に参加いただきますよう、よろしく願いいたします。

理事長 網干勝

2. 活動報告

第1回ドンデン山山行実施

5月10日（土）～11日（日）にかけて、『山仲間アルプ』設立後の初めての山行を、佐渡島のドンデン山で実施しました。

土日とも好天を予報していた、週間予報が直前になって、思わしくない方向に修正されてしまいましたが、登山を行った日曜日は、雲が垂れ込めていましたが、時々薄日が差し雨は降らず、暑くもなく寒くもない、程良い気温で、歩くことができました。

土曜日は、一夜の宿を提供していただいた宝屋旅館さんのご好意で、トキ保護センターや能楽の里を楽しませていただきました。その夜は、参加したメンバーで、楽しい語らいの時間を過ごし、日曜日の登山に向けて鋭気を養いました。

ドンデン山の登山は、行き帰りとも、宝屋旅館さんから車で送り迎えしていただき、本当にお世話になりました。

ドンデン山登山口の少し手前のゲートで下ろしていただき、アオネバ溪谷に沿って登りはじめます。登山道に入る手前から、アマドコロやスミレの花が咲き、超ゆっくりペースで歩き始めました。

溪谷にはいると、山の花が次々に現れてきます。ニリンソウ、タチツボスミレ、オオタチツボスミレ（？）、オオイワカガミなどの群落は、これでもかこれでもかと続いています。さらにシラネアオイが現れます。シラネアオイは、下の方では、もう花が終わりかけていましたが、上部に行くにしたがってきれいな花弁を付けていました。とにかく、こんなに多くのシラネアオイを見たのは、初めてです。下の方から、ずっと上まで続いていた。さらに、ヒトリシズカも群落を作り、こんなに多くの花を見たのは初めてです。

木々の梢では、オオルリやホオジロがさえずり、私たちが登ろうとしている先では、ミソサザイが元気な歌声を張り上げています。

溪谷は、上部に行くとも傾斜を増し、少しきつい登りになります。すると、今までの花に加えて、カタクリが群落を作り、キクザキイチゲも姿を現してきました。オオミスミソウも何とか見ることができました。

登り着いたアオネバ峠は、気持ちの良い枯れた草原状になっていました。遠くに、ポポンポポンというツツドリの声が聞こえたり、ジュウイチの声も聞こえます。ドンデン池方面からドンデン山の山頂を目指します。とても大きな葉をのばしたザゼンソウにあってビックリしたり、地元の方と出会ったりしながら、草原状になった山稜を横切っていきます。湿原には、ミズバショウも咲いていました。日本海を見下ろしたり、佐渡の山々を眺めたりしながら、ドンデン山への最後の登りを頑張ります。